

軌道爆雷

用途

軌道爆雷（以下本機ト略稱ス）ハ軌間一米四三五及一米五二四上ヲ自走シ術工物ノ破壊、輸轉材料ノ爆破、線路ノ阻滯ヲナスニ使用ス

構造機能

構造

イ 本機ハ機體部、車輪部、藥莖部及支柱ノ各部ヨリ成リ。各部ハ分得可能ニシテ、重量ハ一五〇斤以下トシ、近距離ノ運送ハ臂力ニテ可能ナリ

ロ 本機ニハ定限距離装置及自動發進装置ヲ取付ク

定限距離装置ハ所望ノ距離走行セル後、機體ノ停止、電氣管管ノ點火及車輪ノ駆動ヲナス

自動發進装置ハ車外ヨリ操作スルリモトニ依リ「クラツテ」ガ

入ル如キ構造ヲ有ス

ハ 車輪ハ消音ノ目的ヲ以テ「ダイヤモンド」ニ「ゴム」ヲ貼り車輪ノ  
ノ蛇行運動ヲ防止シ且走行距離ヲ正確ニ測定シ得ルタメ路面  
ト「フランドール」ハ直交ヲナス

ニ 爆薬ハ爆破用火薬火具軌道線路警備爆薬トス

ホ 信管ハ爆破用火薬火具軌道線路警備信管トス

ヘ 導火信管ハ爆破用火薬火具九七式導火信管トス

ト 電氣信管ハ爆破用火薬火具九八式電氣信管トス

ナ 薬固ハ激突ノ際自動シ得ル構造ニシテ安全蓋二種ヲ有シ銅

製ノモノハ作業中ノ過誤ニ依ル爆破ヲ防ギ又「アルミニウム

製」ノモノハ走行中ノ振動ニ依ル爆破ヲ防グ

リ 機関ハ陸王内燃機製七五00型ノ一部ヲ改造シ、調速機ヲ取

付ケタルモノトス

2 機能

本機ノ作動スル場合次ノ如シ

イ 車輛ニ激突セシ場合

「アルミニウム」安全栓ヲ切り信管ニ依リ爆破ス

ロ 定限距離装置作動セシ場合

定限距離装置内「スイッチ」作用シ電熱雷管ニ依リ爆破ス

ハ 走行中停止セシ場合

藥室把手内ニ信管ヲ取付テ把手ヲ持上ゲタル際爆破ス

主要諸元

1	自重	約 2 噸 000
2	全長	約 0 米 700
3	全巾	約 1 米 500
4	全高	約 1 米 400
5	爆藥重量	0 噸 000
6	軌間	1 米 435 及 1 米 520
7	標準速度	時速 50 杆
8	機關出力	標準 毎分 2,800 回転ニテ約 1 馬力

東南 海軍 軍 〇〇〇回轉ニテ約一ニ屬力

〇〇〇回轉ニテ約一ニ屬力

兵器區分 機造要領

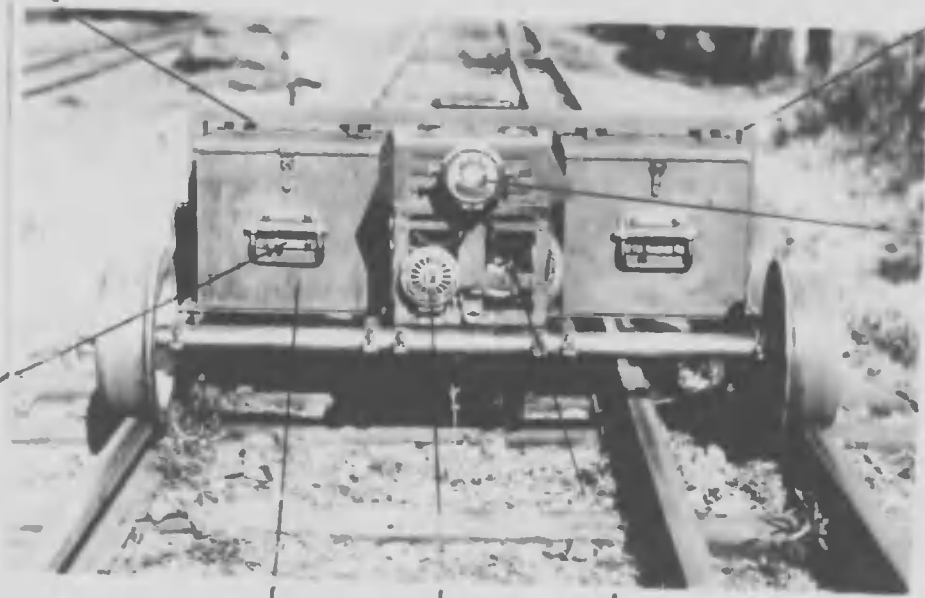
整備状況 既ニ五機ハ整備ヲ終リ十機ハ目下製作中

*Handwritten notes:*  
1. ...  
2. ...  
3. ...

一 第 眞 寫  
面 前

摺動用信管取付部

把手信管取付部



支柱

前照燈

蒸  
汽

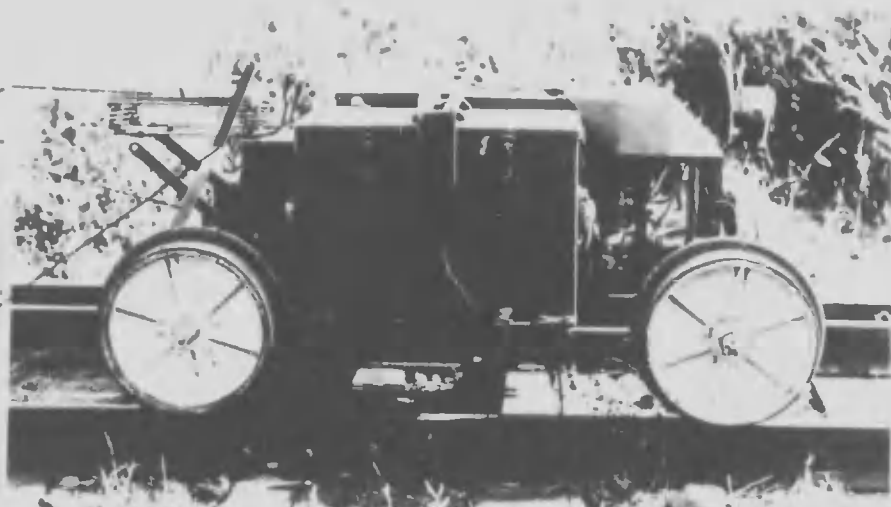
警  
報  
器

機  
關  
部

二 第 眞 寫  
面 側

腰  
掛

手  
動  
制  
動  
桿



支  
柱

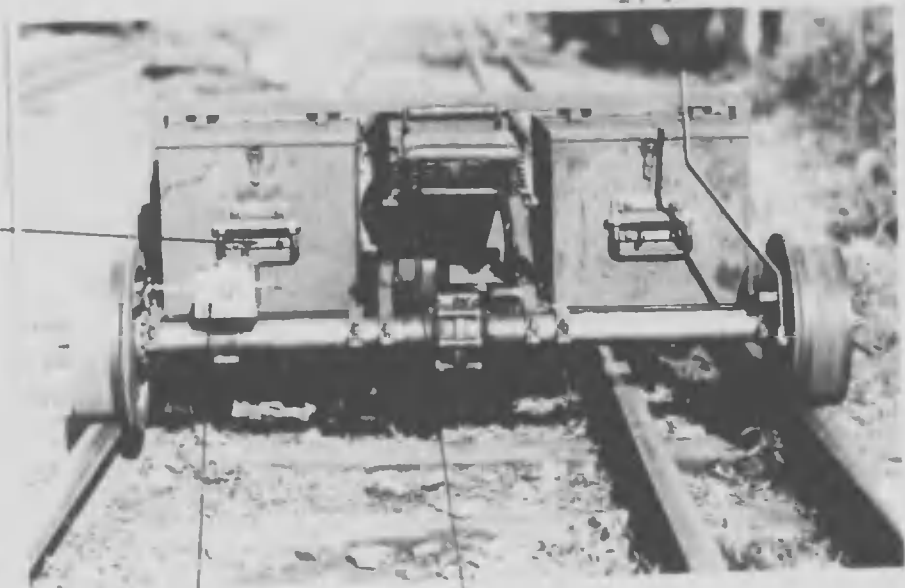
安  
全  
鋼  
製  
栓

ア  
ニ  
ミ  
ウ  
ム  
製  
安  
全  
栓

寫真第三

後面

把手信管安全栓



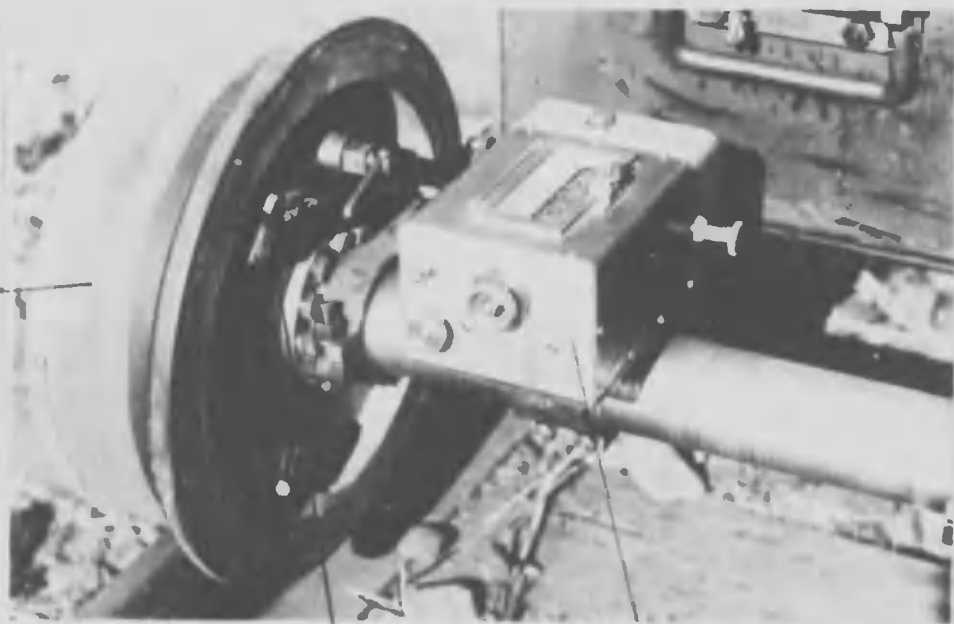
定限距  
離裝置

自動發  
進裝置

寫真第四

定限距離裝置

車輪



自動制動裝置

定限距離裝置

*giant*

1526